

最近の血液行政について

①献血推進及び需給関係

平成 20 年 度 第 1 回
献血推進のあり方に関する検討会

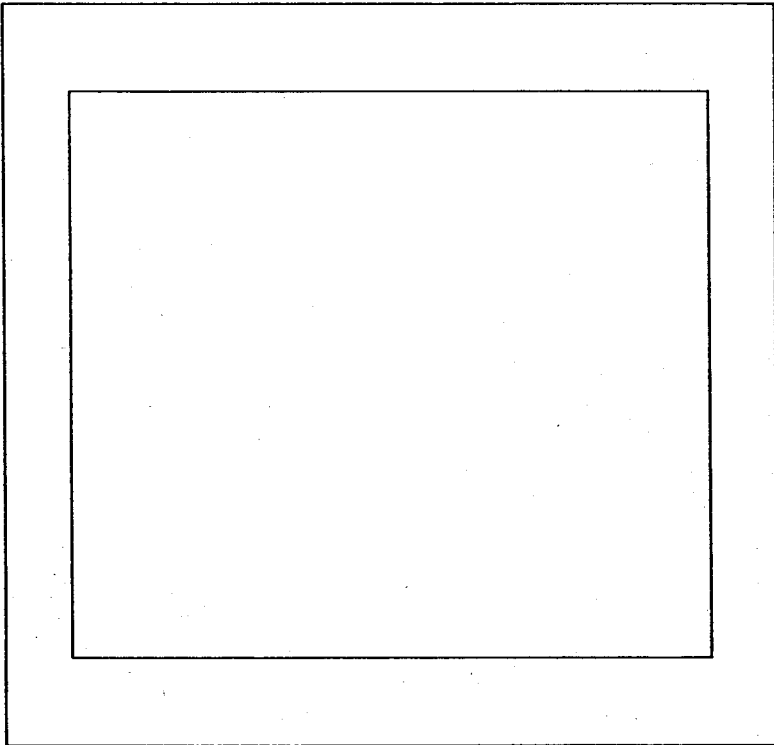
平成20年9月3日(水)
九段会館
「鳳凰」
13:00~15:00

座 席 表

衛 飯 座 宇 大
藤 沼 長 都 平
委 委 長 木 委
員 員 員 員 員

速 記

掛 川 委 員
河 原 委 員
住 友 委 員
中 島 委 員
堀 田 委 員



川 内 委 員
清 水 委 員
田 辺 委 員
花 井 委 員
山 本 委 員

血 液 需 給 對 策 專 門 官

血 液 對 策 企 畫 官

血 液 對 策 課 長

血 液 對 策 補 佐 課

--	--	--	--

(事 務 局 席)

--	--	--	--

(関 係 者 席)

傍 聴 席

第1回 献血推進のあり方に関する検討会 議事次第

平成20年9月3日(水)

午後1時～3時

九段会館 2F 鳳凰

1. 開会
2. 献血をとりまく課題について
3. 若年層を対象とした献血に関する意識調査の実施について
4. 閉会

資料一覧

資料 1	献血推進のあり方に関する検討会 開催要綱
資料 2	献血推進のあり方に関する検討会 委員名簿
資料 3	献血者数の推移〔年代別〕
資料 4	人口変動と献血率の推移〔年代別〕
資料 5	高校生献血者数・献血率の推移
資料 6-1	献血受入施設別の献血者数
資料 6-2	献血受入施設別の血液確保量
資料 7-1	献血種類別献血者数の推移
資料 7-2	献血種類別血液確保量の推移
資料 8	献血に係る普及啓発事業
資料 9	平成17年度 若年層献血意識調査結果の概要
資料10-1	平成20年度 若年層献血意識調査要綱
資料10-2	平成20年度 若年層献血意識調査 調査票
参考資料1	関連記事
参考資料2	普及啓発活動実績(国・都道府県資料)
参考資料3	普及啓発活動実績(日本赤十字社資料)
参考資料4	普及啓発活動実績(日本赤十字社資料:別紙)

「献血推進のあり方に関する検討会」開催要綱

1. 目的

近年、わが国の献血者数は減少傾向にあり、特に若年層の献血離れは深刻なものとなっていることから、将来の安定的な血液確保に懸念が生じている。

こうした状況を踏まえ、本検討会は、若年層に対する効果的な啓発方法をはじめとした今後の献血推進方策について広く検討し、検討結果をわが国の血液事業に反映させることを目的とする。

2. 検討事項

- (1) 若年層を対象とした献血に関する意識調査の実施について
- (2) 今後の若年層に対する献血推進方策のあり方について
- (3) その他

3. 委員構成

- (1) 検討会の委員は、医学、法律等の有識者の他、患者団体、採血事業関係者、学校関係者、報道機関関係者及び地方自治体関係者等により構成する。
- (2) 検討会は、委員のうち1人を座長として選出する。

4. 運営

- (1) 検討会は、知的財産・個人情報等に係る事項を除き、原則公開するとともに、議事録を作成し、公表する。
- (2) 検討会は、必要に応じ、参考人として、献血啓発に関係する機関や民間会社等の代表者の参加を求めることができる。

5. 庶務

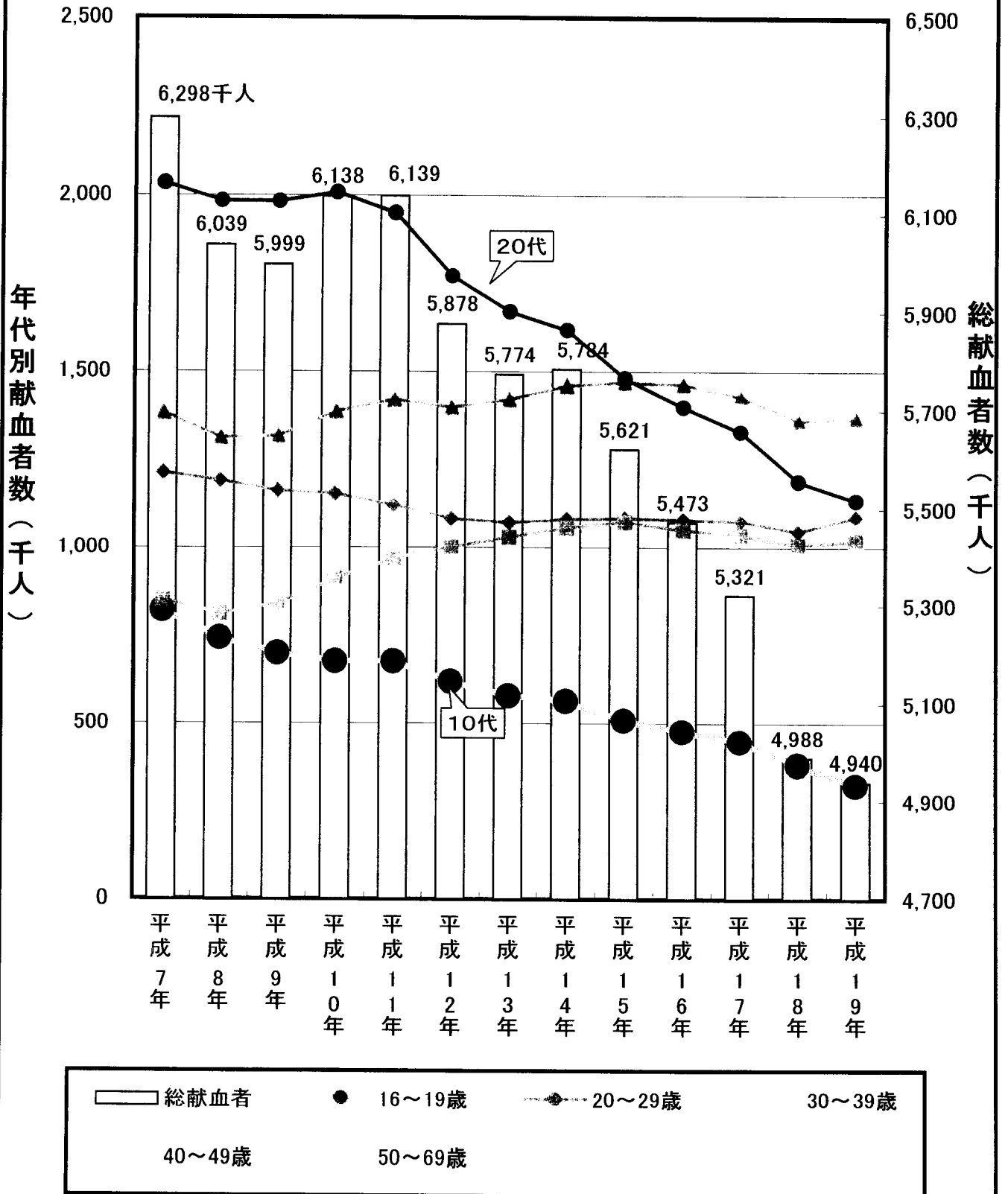
検討会の庶務は医薬食品局血液対策課が行う。

「献血推進のあり方に関する検討会」

委員名簿

	氏名	現職
1	飯沼 雅朗	社団法人日本医師会 常任理事
2	宇都木 伸	東海大学法科大学院実務法学研究科 教授
3	衛 藤 隆	東京大学大学院教育学研究科 教授
4	大平 勝美	社会福祉法人はばたき福祉事業団 理事長
5	掛川 裕通	日本赤十字社血液事業本部 副本部長
6	川内 敦文	高知県健康福祉部 医療薬務課長
7	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授
8	清 水 勝	医療法人西城病院 理事
9	住友眞佐美	東京都福祉保健局 保健政策部長
10	田辺 善仁	株式会社エフエム大阪 専務取締役
11	中島 一格	東京都赤十字血液センター 所長
12	羽田真由香	全国学生献血推進協議会 委員長
13	花井 十伍	ネットワーク〈医療と人権〉 理事
14	堀田美枝子	埼玉県立浦和西高等学校 養護教諭
15	山本シュウ	株式会社アミューズ所属 ラジオDJ

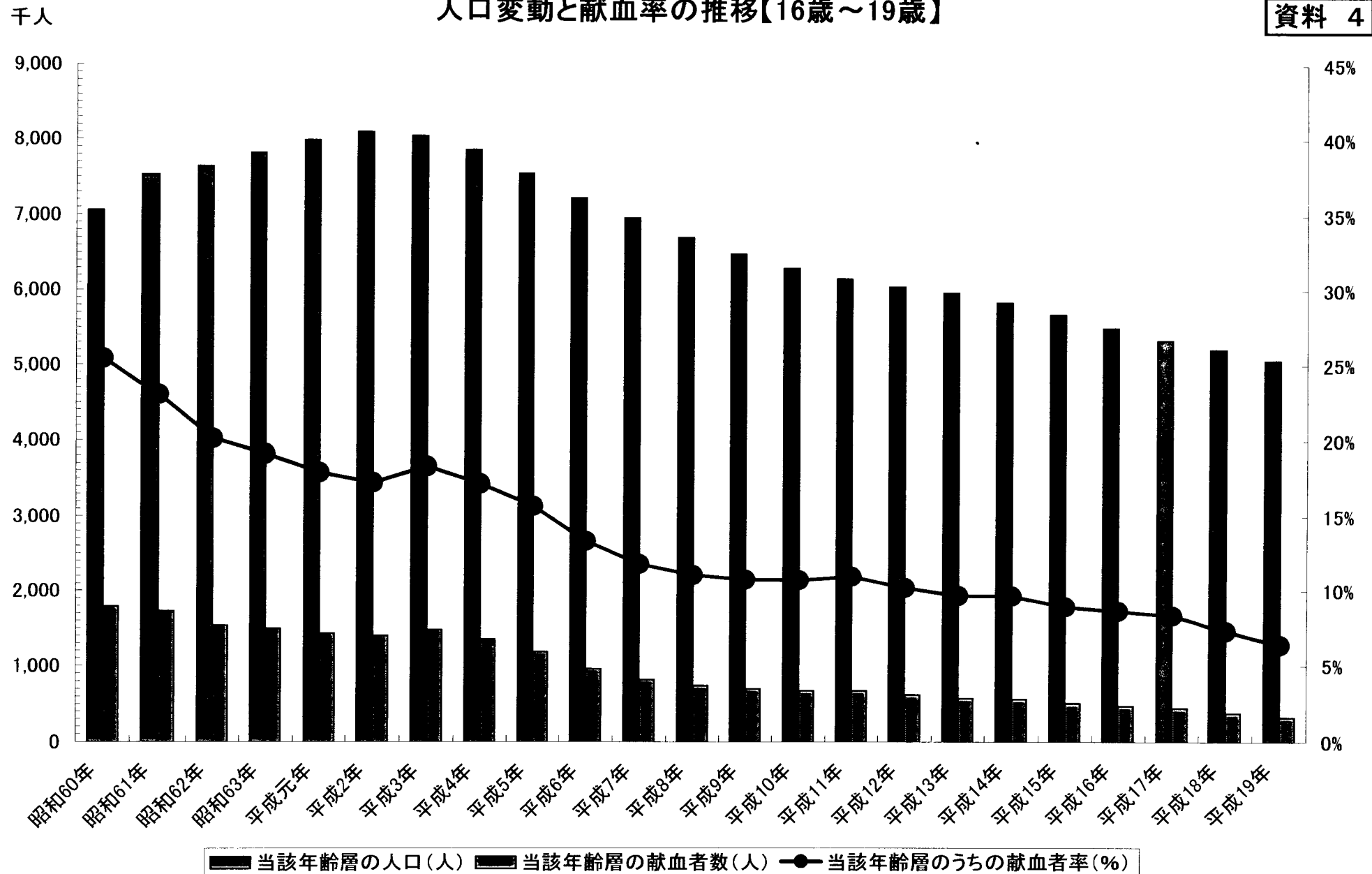
献血者数の推移【年代別】



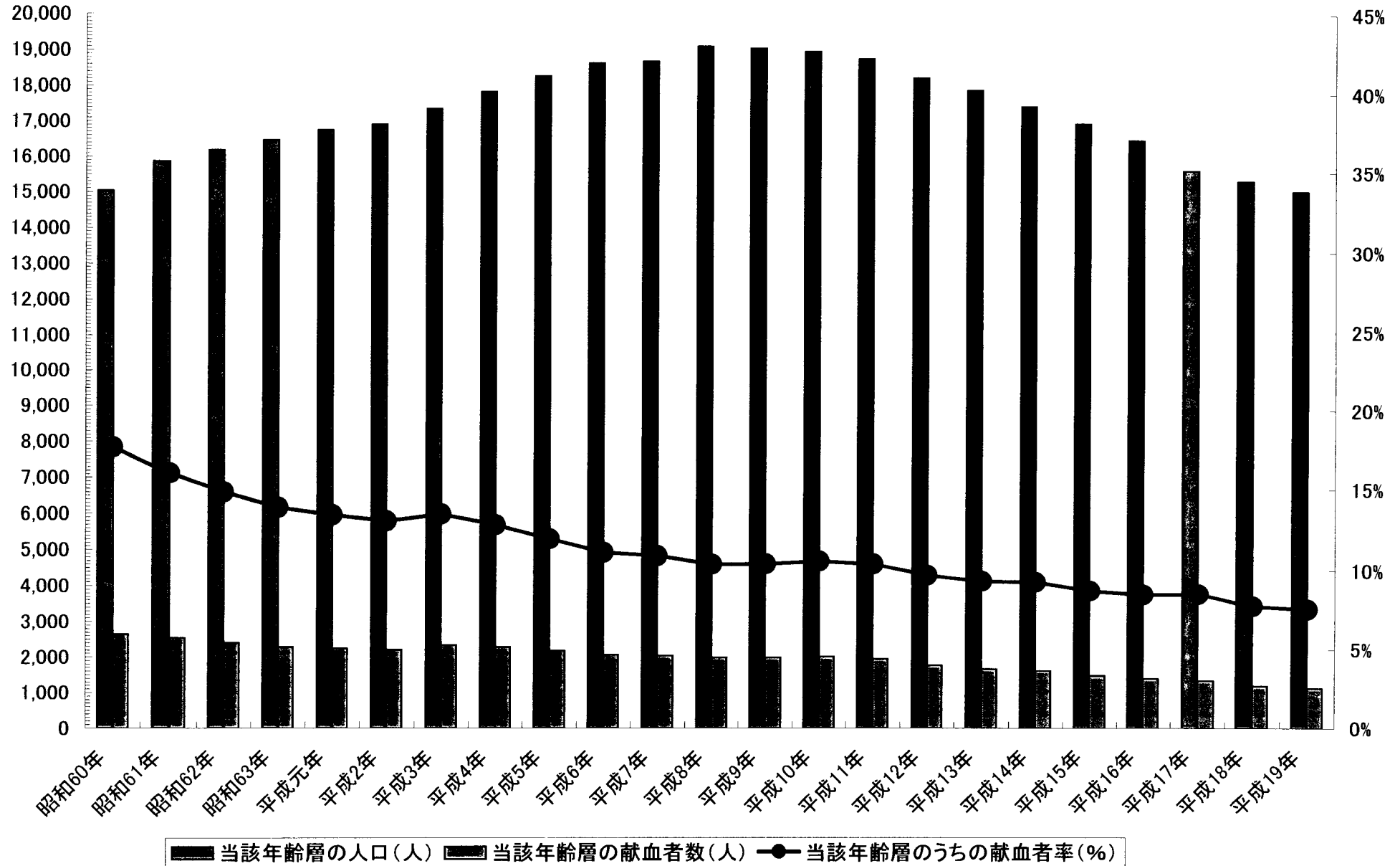
※献血者数は延べ人数

人口変動と献血率の推移【16歳～19歳】

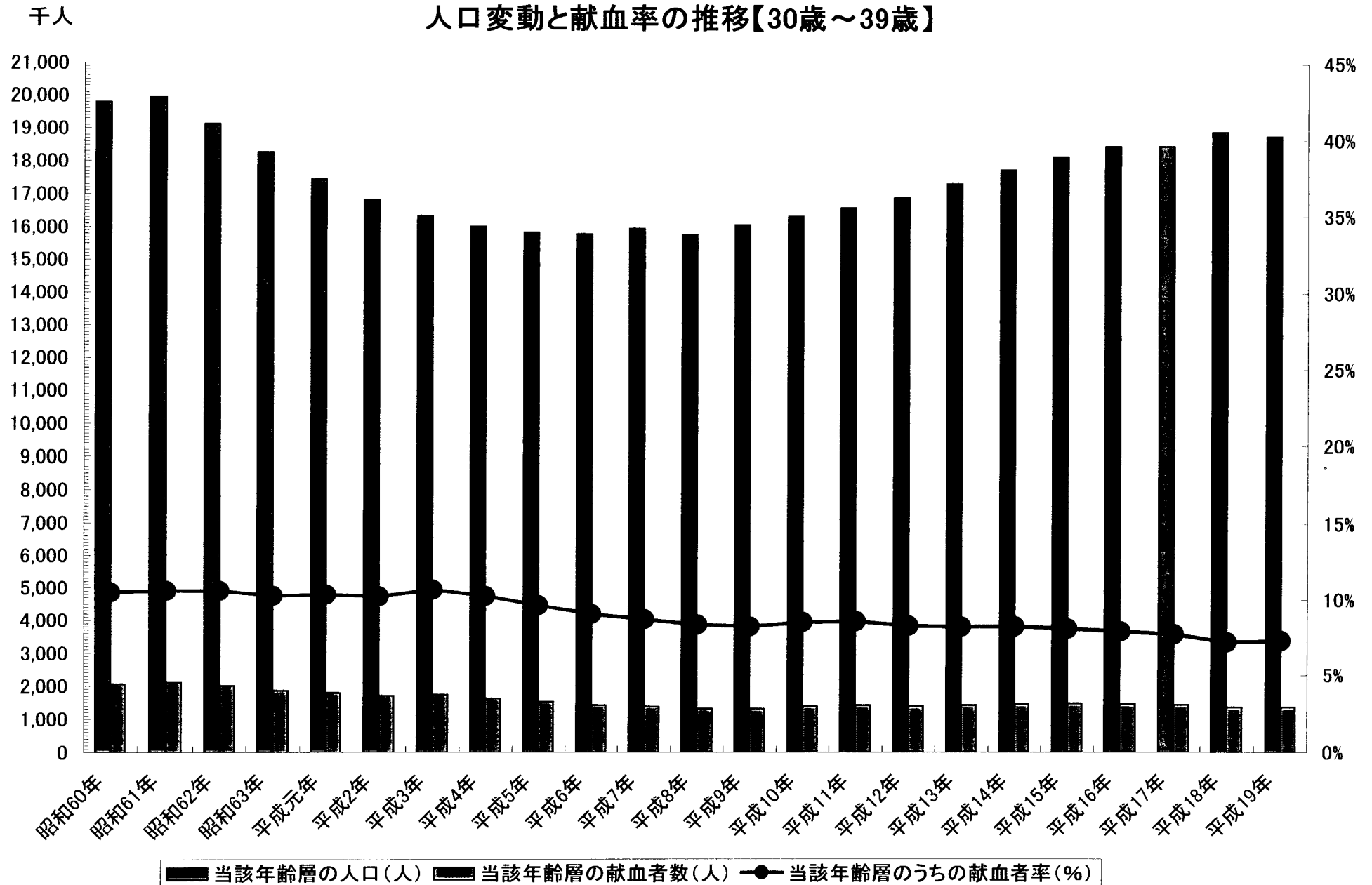
資料 4



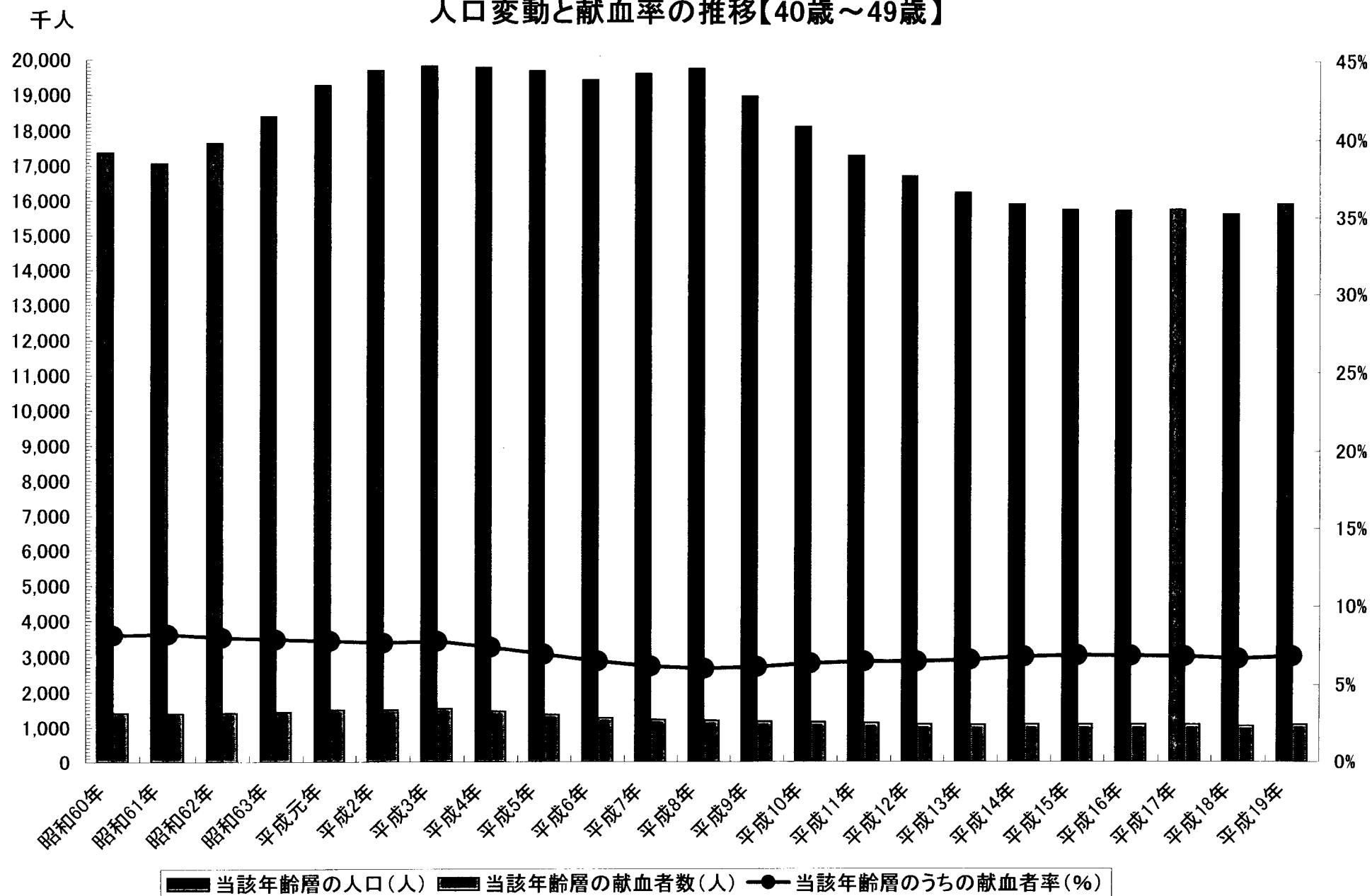
人口変動と献血率の推移【20歳～29歳】



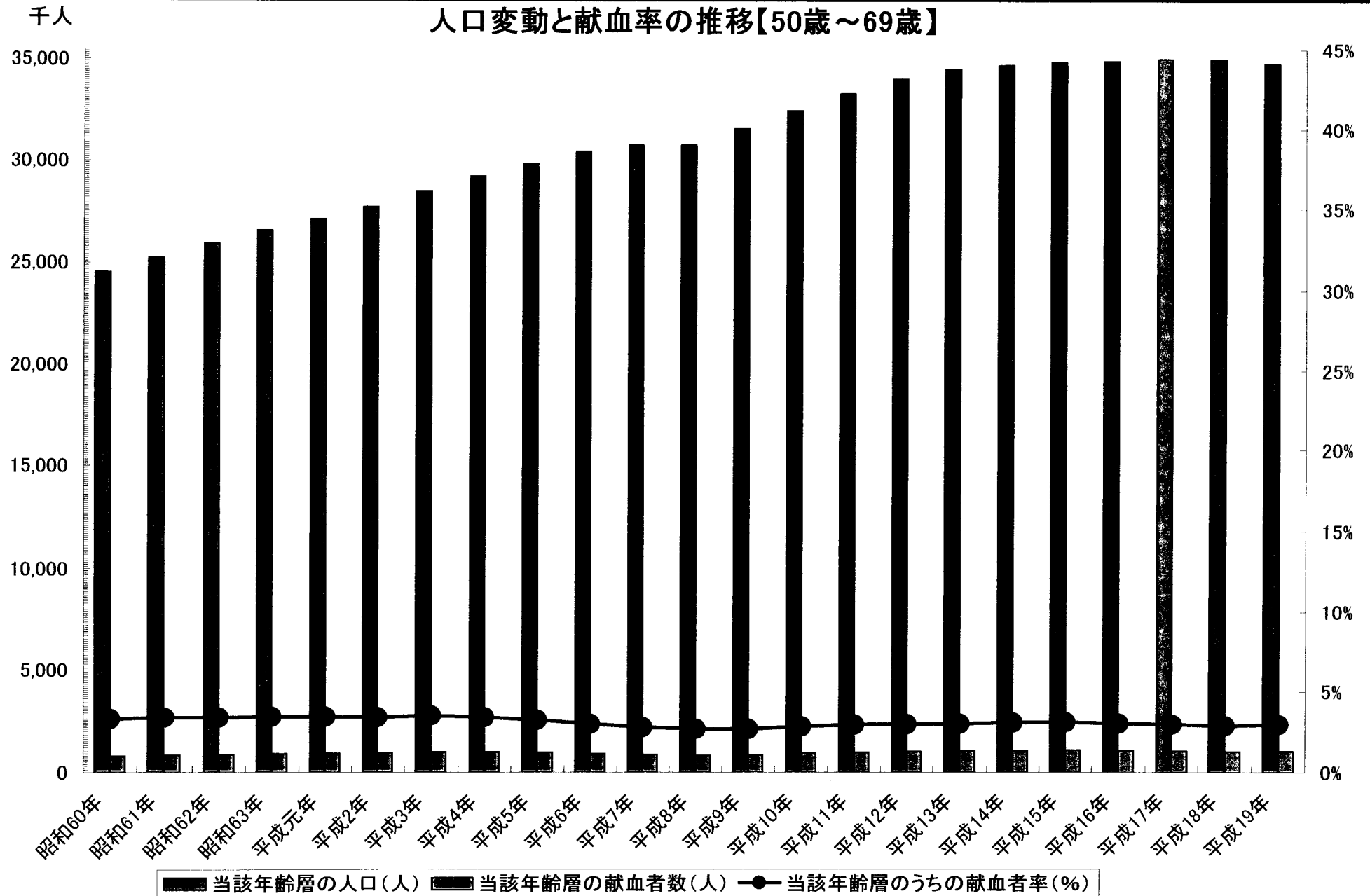
人口変動と献血率の推移【30歳～39歳】



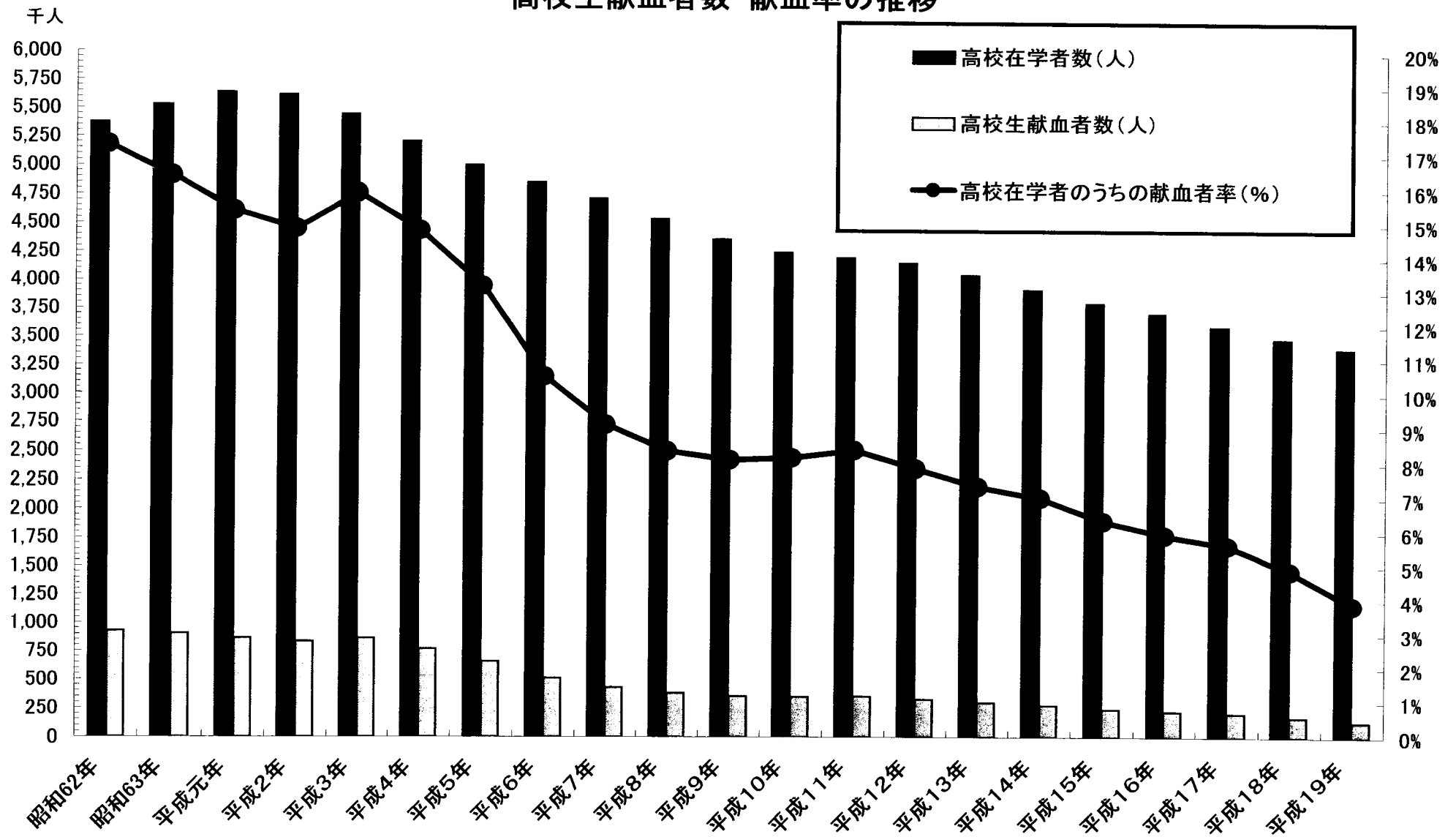
人口変動と献血率の推移【40歳～49歳】



人口変動と献血率の推移【50歳～69歳】

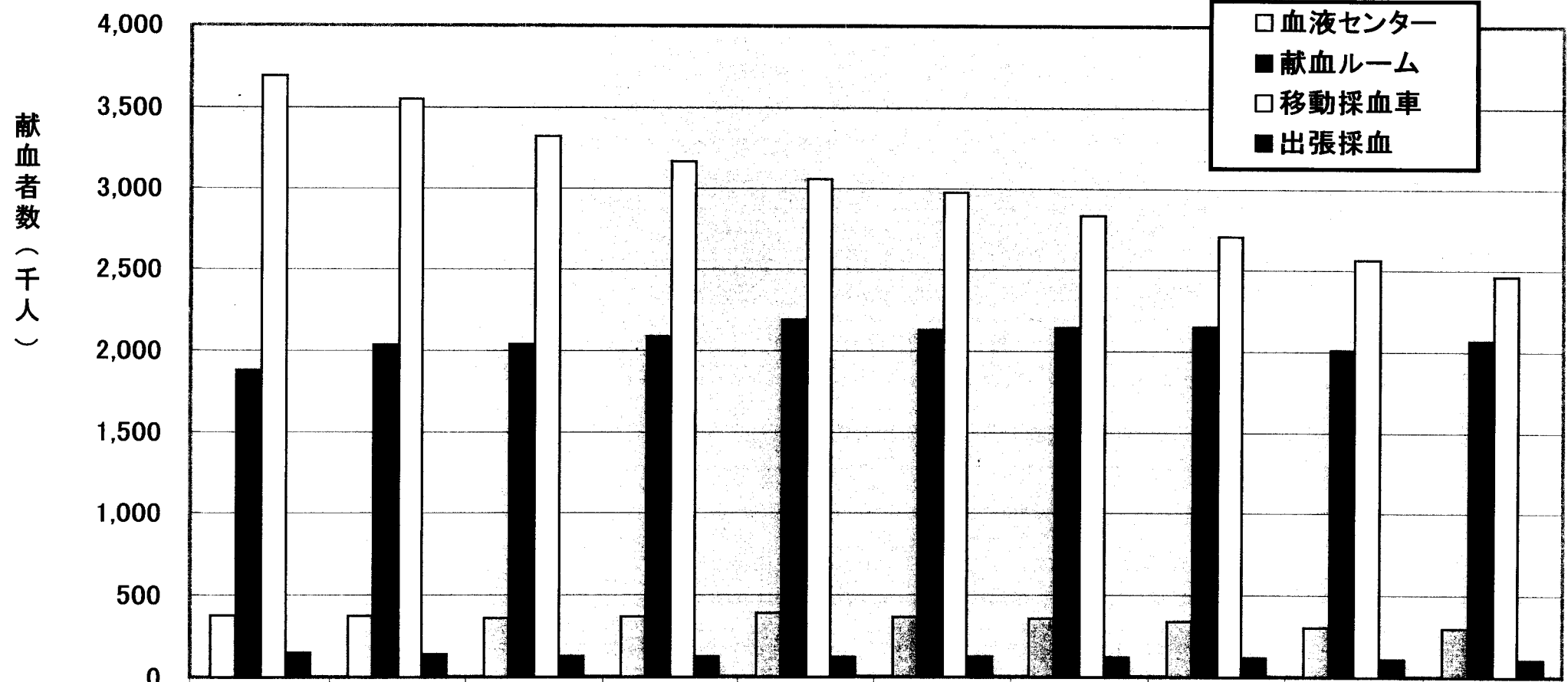


高校生献血者数・献血率の推移



※献血者数は延べ人数

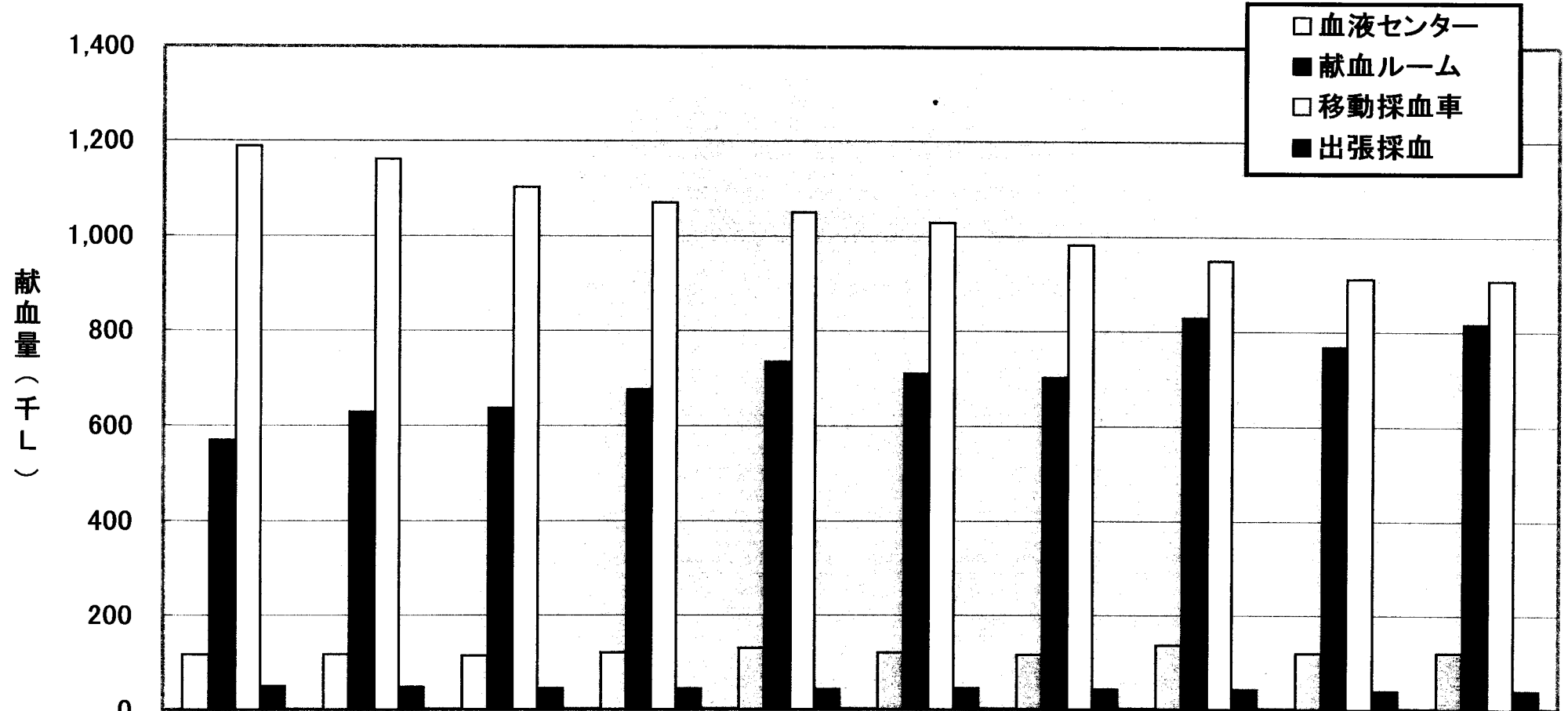
献血受入施設別の献血者数



	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
□ 血液センター	378	373	359	369	390	364	355	338	301	295
■ 献血ルーム	1,878	2,037	2,039	2,087	2,189	2,130	2,146	2,151	2,008	2,065
□ 移動採血車	3,693	3,553	3,323	3,169	3,056	2,975	2,834	2,705	2,563	2,462
■ 出張採血	149	139	128	122	119	123	121	117	107	107

※献血者数は延べ人数

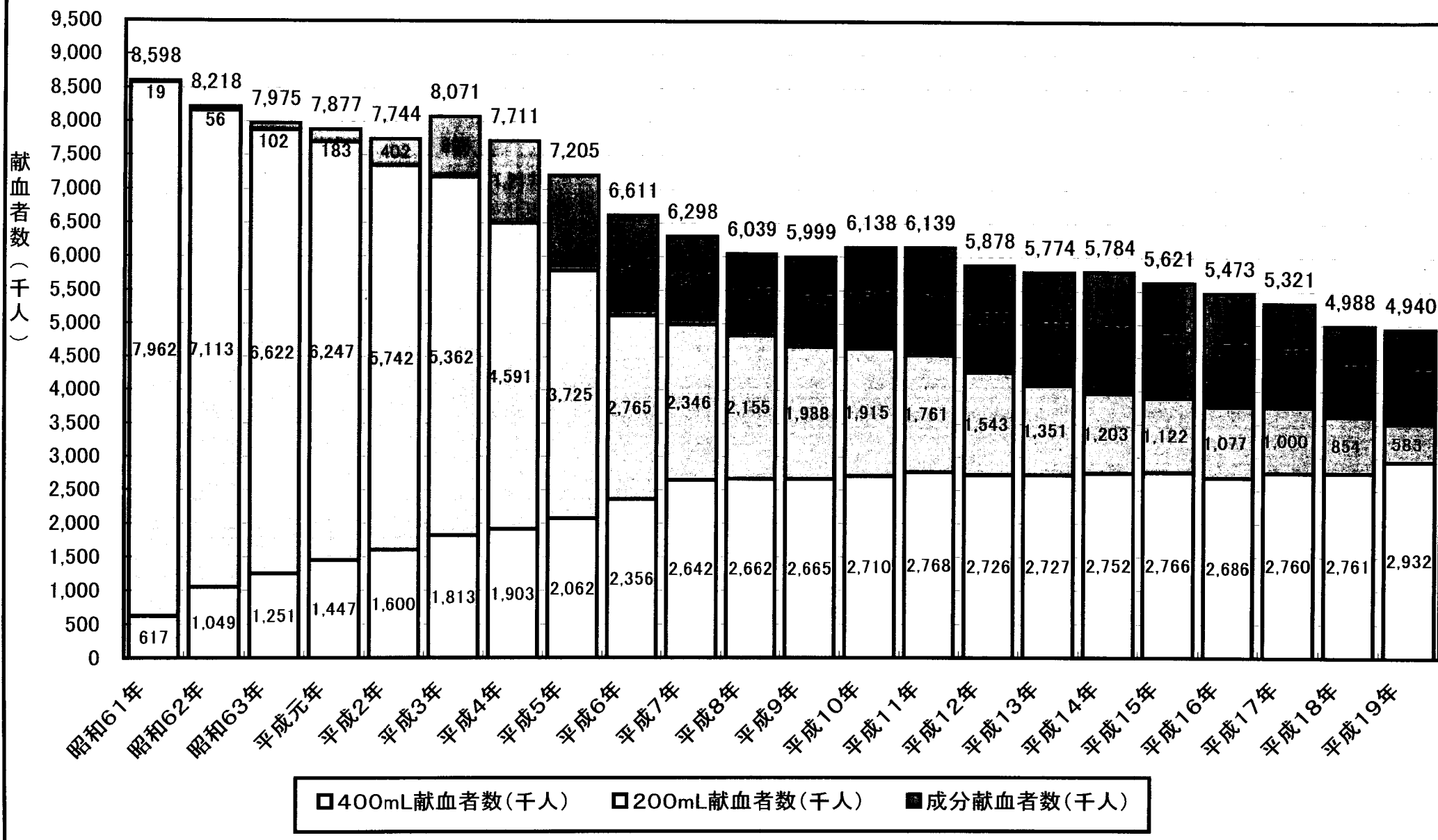
献血受入施設別の血液確保量



	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
□ 血液センター	116	116	113	119	129	119	115	136	119	119
■ 献血ルーム	569	629	637	676	734	710	702	829	768	816
□ 移動採血車	1,188	1,161	1,103	1,070	1,050	1,029	982	950	913	908
■ 出張採血	50	47	44	44	43	44	43	42	39	40

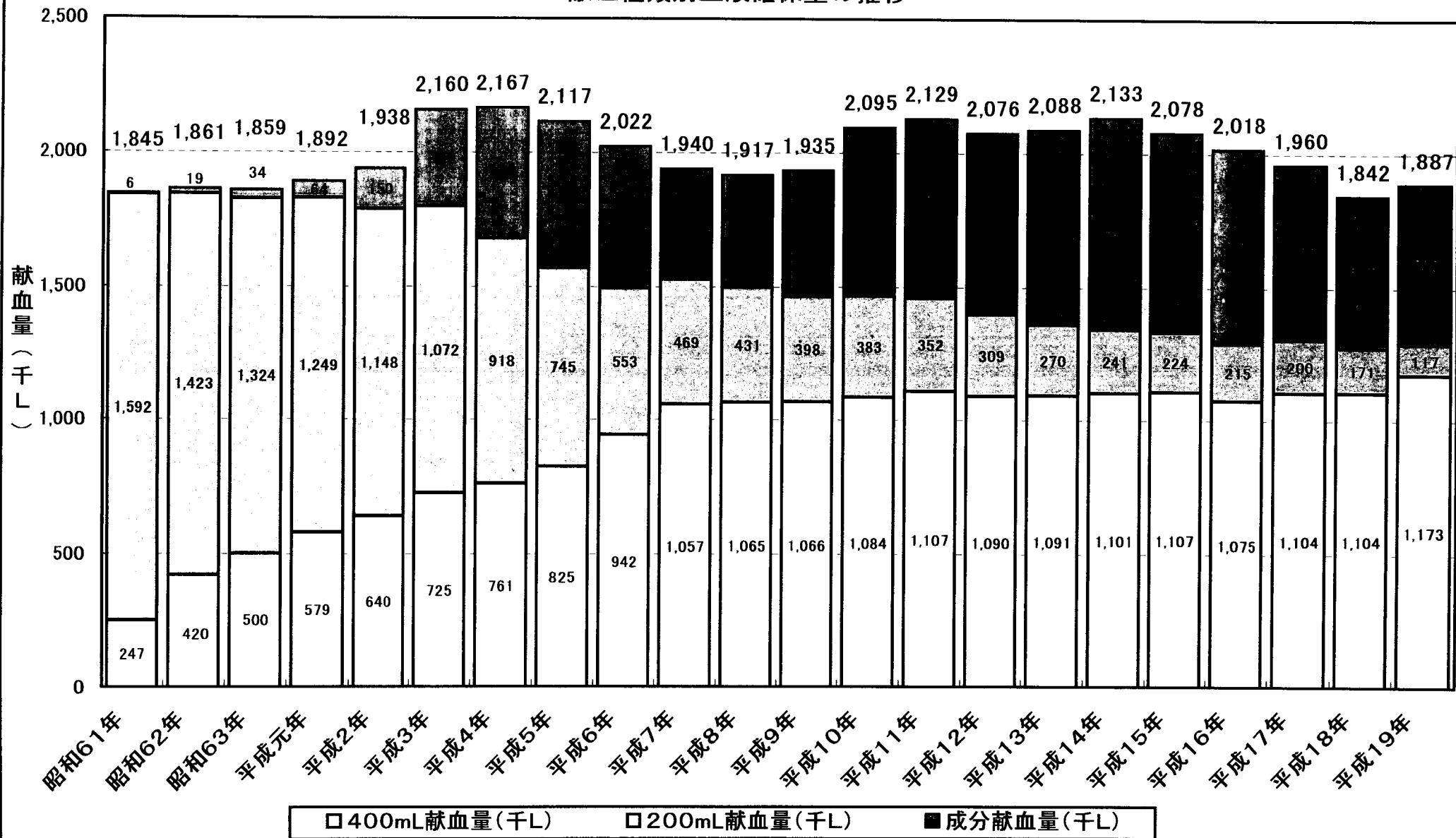
献血種類別献血者数の推移

資料 7-1



※献血者数は延べ人数

献血種類別血液確保量の推移



献血に係る普及啓発事業

献血推進キャンペーン等の実施

愛の献血助け合い運動(7月)

はたちの献血キャンペーン

(1-2月)

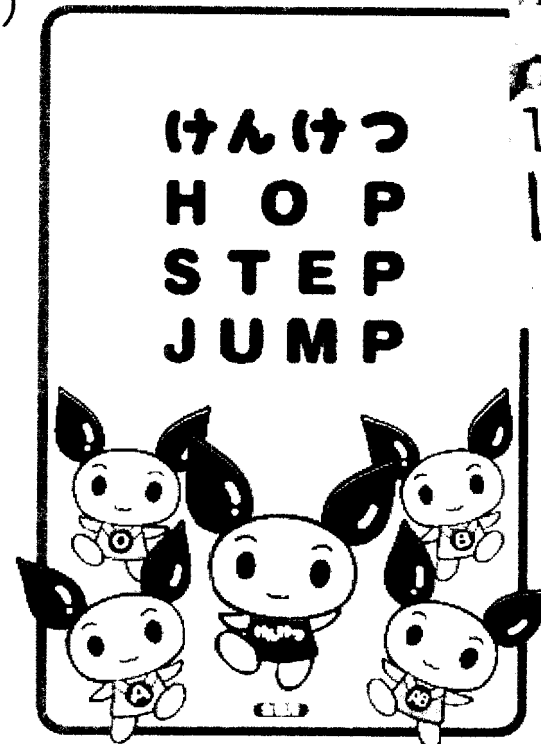
献血推進キャラクター

「けんけつちゃん」の活用

「献血構造改革」(H17~)

~普及啓発の対象を明確にした効果的な活動や重点的な献血者募集を行う

- ① 若年層の献血者数の増加
- ② 安定的な集団献血の確保
- ③ 複数回献血者の増加



厚生労働省



— 高校生向け普及啓発用テキスト

献血構造改革の目標

(平成17年度からの5年程度の達成目標)

若年層の献血者数の増加

10代・20代を献血者全体の40%まで上昇させる

平成17年度 33.4%

平成18年度 31.5%

平成19年度 29.2%

安定的な集団献血の確保

集団献血等に協力する企業数を倍増する。

平成17年度 24,220社

平成18年度 30,835社

平成19年度 34,059社

複数回献血の増加

複数回献血者を献血者全体の35%まで上昇させる。

平成17年度 27.5%

平成18年度 28.1%

平成19年度 29.5%